

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成28年3月28日（月）～平成28年4月3日（日）【第13週】の感染症発生状況

第13週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は6.91人と前週（7.17人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.94人と前週（5.18人）から増加しましたが、例年よりやや低いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.88人と前週（1.58人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



～蚊が媒介する感染症について～

蚊が媒介する感染症として、国内では日本脳炎が知られていますが、平成26年以降、デング熱やジカウイルス感染症などが話題になっています。

川崎市においては、過去10年以上に渡って日本脳炎の届出はありませんが、デング熱の届出は毎年0～6件程度あり、今年に入ってからジカウイルス感染症の届出も1件ありました。

デング熱やジカウイルス感染症は似た症状を示し、発熱、発疹、関節痛、結膜炎などが見られますが、今のところワクチンや治療薬がありません。

これらの感染症について正しく理解するとともに、感染症を媒介する蚊を増やさない、さされないための対策に取り組みましょう。



蚊を増やさない！（幼虫対策）

ボウフラ（蚊の幼虫）の発生を防ぐために水溜まりを作らない！

- 放置された空き缶、ペットボトル
- 雨ざらしのじょうろ、おもちゃ
- 水の溜まった植木鉢、埋設型散水栓
- 水の溜まったビニール、古タイヤ
- 排水溝など

蚊にさされない！（成虫対策）

- 蚊の侵入を防ぐ
網戸の設置など
- 蚊の潜み場所をなくす
やぶや草むらの刈り取り
- 蚊の吸血を防ぐ
長袖・長ズボンの着用
虫除け剤や蚊取り線香の使用

